



## 世界の舞台で活躍できるように 日野高校レスリング部



▲日野高校レスリング部の皆さん

### ●顧問南敏文先生

#### 最強の選手から 最高の指導者へ

日野高校レスリング部は、昭和59年に創部されました。創設されたのは、現在もレスリング部の顧問をされている南敏文先生です。南先生は、大学時代、レスリング日本選手権6連覇、国体5連覇を達成されています。また、1980年には、モスクワオリンピックで日本代表選手に選ばれましたが、日本がオリンピックに参加しないことを

決定したため、南先生のオリンピックは幻となってしまいました。その後、選手を引退され、指導者の道に進まれた南先生は、日野高校へ赴任され、世界選手権大会の銀メダリスト新海真美選手をはじめ現在まで200人を超える生徒を指導しておられます。

### ●人間としての共鳴

南先生は「先生と生徒という関係は保ちつつ、それぞれに一人の人間として接しています。人と人が共鳴すること

を大切にしているんです」と話してくださいました。

南先生は部員の皆さん一人ひとりの性格、得意・不得意なことをはじめ、毎日のさまざまな変化を敏感に感じとり、練習につなげておられます。

それは、南先生が技術だけではなく、人間としての成長を大切にされ、信頼関係を築いておられるからこそ分かることです。

そんな南先生の部員を思う気持ちにこたえる部員の皆さん。ともに汗を流し、笑いあうことでさらに絆が深まっていくそうです。

### ●目的は世界の舞台、 目標は日本の大会

日野高校レスリング部は常に世界を視野に入れて練習、試合をされています。世界の大会に出場するために、日本の大会があるのです。世界で戦うためには『普通の練習』では勝つことができません。

南先生は「人間は実力の8割までは、努力や1人でのトレーニングでもできる。自分の力の110パーセントを出すトレーニング、つまり、自分

を追い込み、本当の限界を超えることが必要」と話されま

す。そのような厳しいトレーニングを乗り越えられるのも部員の皆さんと南先生の確かな信頼があつてこそ成り立っています。

「レスリングは、世界最古のスポーツ。何も持たずに戦い、力だけで相手を倒す競技。だからこそ勝った時の喜びは大きいものです」と南先生。

南先生と部員の皆さんが心をひとつに、一つ一つの試合に向けて厳しくも優しい練習を重ねておられました。



▲「日野にはまだまだ原石があります」と南敏文先生。日野高校レスリング部だけでなく、「日野クラブ」では、幼稚園児、小・中学生も指導しておられます